

【パフォーマンス課題について】

Q 1

何をもとにして、パフォーマンス課題を設定しているのか、子どもたちが学び方を選択できるようにするまでの取り組みがよかったら知りたいです。

A 1

授業者が各単元で子どもに身に付けさせたい力を明確にし、それを元にパフォーマンス課題を設定しています。情報収集の仕方や思考ツールの使い方などをしっかりと教えることから始め、どのタイミングで手が放せるか（子どもに任せられるか）を、授業者が図りながら進めています。

Q 2

授業をパフォーマンス課題とルーブリック評価で構成されていますが、全校、または、3年生になったらやるなどの学校全体で統一して行なっているのが気になりました。

A 2

まだ学校全体で統一はしてません。教科や単元、児童の実態に応じて必要な場合は示すようにしています。児童が主体的に見通しをもって活動する手段として、今後は全ての授業で提示できればよいと考えています。

【チャットについて】

Q 1

◆チャットにとっても関心をもっています。授業中にチャットを使っていく上でのルールや、授業とは離れてしまいましたが、自宅でのチャットの使用のルールについて決まっていることがあればお教えいただきたいです。お忙しい中申し訳ございません。

◆チャットでのルール等はどのようになっているのでしょうか。チャットはどのように活用をしていますか

◆3-3の授業の中でchatを利用されていましたが、児童が使用する際のchatの規制やルールなどは 設けていらっしゃいますでしょうか？

A 1

チャットの規制は特にしていません。タブレット活用は学習が目的であることをくり返し伝え、気になる使い方があればその都度指導しています。初めは様々指導すること（良くない発言・個人的なやりとりなど）がありましたが、使い慣れていく内に指導することは減り、今はほぼありません。

【タイピングについて】

Q 1

◆タイピングが速い児童が多くいた印象でした。上達のために何か特別な取り組みをしているのでしょうか？

◆3年生ですでにキーボード入力をされていましたが、タイピングはどのようにご指導されていますでしょうか？

A1

特にタイピングを指導する時間は設けていません。タイピング練習アプリに学級単位で登録をして、隙間時間や家庭で取り組ませています。子どもの上達スピードに驚かされています。

【振り返りについて】

Q 1

振り返りの方法が「チャット」「パドレット」「スプレッドシート」など先生方によって違いがありました。授業の内容等で変えられていると思いますが、この3つは児童の振り返りを全員見ることができるものだと思います。

振り返りを記録する手段はクラス全員で共有できればよく上記の3つに差異はないのか、それともそれぞれ使う意義や意味があり明確に使い分けているのか教えてほしいです。

A 1

明確な使い分けはありません。教科や単元、児童の実態に応じて、全体で共有しながら教師がアプリを指定して他者参照の手段として活用させることもあれば、児童が個別にアプリを選択して活用する場面もあります。もちろん必要に応じてノートやプリントも使用しています。